

# 予約必要

2021年8月25日 スペースたんぽぽ 講座番号695 新ちよぼゼミシリーズ「オルタナティブな日本を目指して」  
(ちよぼちよぼ市民によるちよぼちよぼ市民のためのゼミナール) 第63回

## 福島第一原発の廃炉をどうするか

講師：筒井哲郎（つつい てつろう）さん

プロフィール： 1941年石川県生まれ。東京大学工学部機械工学科卒業。プラント技術者の会会員、原子力市民委員会委員

福島原発事故以来、メルトダウンした3基の事故炉の後始末が大きな技術上の難問となっています。政府および東京電力は事故炉の後始末について「中長期ロードマップ」を定め、それに基づいて作業を進めています。その計画の中心課題は燃料デブリの取り出しです。地元周辺住民が事故時にメルトダウンに伴う放射能飛散のために大規模な避難行動を余儀なくされた経験から、そのような事態が再発しないようにデブリを取り出してサイトから搬出してほしいと地元自治体などが要望し、政府と東電がそのことを約束しています。しかしその実現性に技術的裏付けがあるわけではありません。その後10年間、デブリの位置・形状に係る現場調査や取出しのためのロボット開発が営々と積み重ねられてきました。しかし、未だにその技術は確立していません。むしろその困難性が一層鮮明になってきましたが、研究機関や関連企業は希望的な目標に固執して多額の費用と多大な労力を投入し続けています（以上、原子力市民委員会報告書要約）。

はたして福島原発事故の後始末や廃炉の方針は今のままでいいのでしょうか。今回は原子力市民委員会などでご活躍のプラント技術者・筒井哲郎さんに「福島第一原発の廃炉問題」について詳しくお話をしていただきます（なお、この日は主催者側から「脱原発ロードマップ（再論その2）」についてプレゼンを行います）。是非ご参加ください。

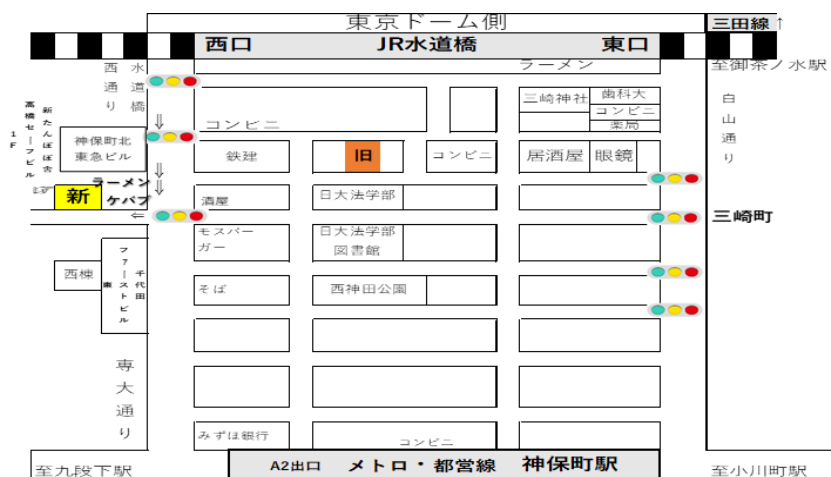
**8月25日（水） 18時～21時（開場17時30分）**

会場：スペースたんぽぽ 参加費（資料代含む）：800円（学生400円）

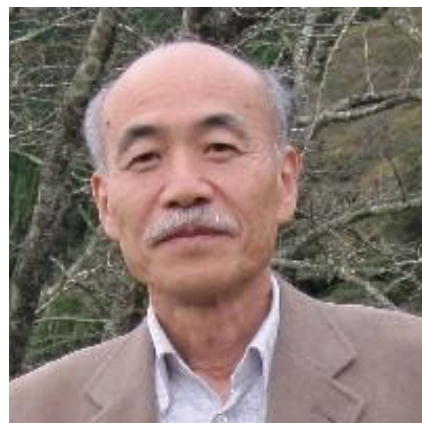
高橋セーフビルの1階 JR水道橋駅西口から5分：水道橋西通りを神保町方面に向けて左折、グローバルスポーツビル、セブンイレブン、鉄建建設本社ビルを過ぎて、次の交差点（酒屋さん）を右折、ケバブ店の隣

東京都千代田区神田三崎町3-1-1 tel 03-3238-9035 fax 03-3238-0797

Email: [nonukes@tanpoposya.net](mailto:nonukes@tanpoposya.net) URL: <http://www.tanpoposya.com/>



<新住所> 〒101-0061  
東京都千代田区神田三崎町3-1-1 高橋セーフビル1階



筒井哲郎さん